

令和4年9月21日

那須烏山市議会議長 渋井由放 様

総務企画常任委員会委員長 滝口貴史

決算審査結果報告書

本委員会に令和4年9月12日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 令和4年9月13日（火）及び14日（水）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第一委員会室
- 3 出席委員 滝口貴史、堀江清一、青木敏久、渋井由放、平塚英教

4 説明のための出席者

会計管理者兼会計課長 澤村誠一、参事兼総合政策課長 菊池義夫、まちづくり課長 大谷光幸、参事兼総務課長 佐藤博樹、税務課長 高濱裕子、議会事務局長 菊地唯一、他関係職員

5 審査事項

本委員会の所管する総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会の令和3年度那須烏山市の一般会計及び特別会計歳入歳出決算

6 審査結果

本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の決算については、一部反対意見はあったものの、原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

総合政策課

- ・基金について、決算剰余金の額に応じ市有施設整備基金や庁舎整備基金に計画的な積立てを行っているが、今後、多大な財政負担が見込まれる事業に対応するため、財政調整

- 基金や地域振興基金等、柔軟性のある基金への積立てを優先されるよう検討されたい。
- ・財政運営について、合併算定替の終了に伴い地方交付税が減額となり、より財源の確保が求められる状況にあることから、本市の独自性を生かしたふるさと応援寄附金の拡充や、新たに活用が見込める過疎対策事業債を十分に活用し、引き続き健全な財政運営に努められたい。
 - ・学生応援ふるさと便について、コロナ禍における学生支援は、郷土愛の醸成や地元での就業等の効果が期待される有効な事業であることから、今後の実施に際しては内容の充実を図り更なる制度の周知に努められたい。

まちづくり課

- ・公害防止対策について、市内の複数箇所において無許可の不適正事案が発生していることから、引き続き関係機関と連携し、市民の市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例に基づく適正な指導や措置命令を実施し、抑止効果を高めるための取組を推進されたい。
- ・J R 鳥山線について、路線の存続に向けた本市独自の方策や市民との協働による利用向上策を検討し、利用者が着実に増加するための取組を推進されたい。
- ・南那須地区広域行政事務組合負担金について、ごみの減量化を図ることにより、ごみ処理費の抑制や、今後整備が見込まれる保健衛生センター施設整備費の抑制に期待できることから、更なるごみの減量化に向けた取組を推進されたい。

総務課

- ・自主防災組織強化推進事業について、制度活用の実績が増加傾向にあり、各自治会の防災意識が高まりつつある状況にあることから、自主防災組織防災計画の策定を支援するとともに、今後も更なる制度の周知に努め、引き続き各自治会の取組を支援されたい。
- ・那須烏山市次世代育成支援・女性活躍特定事業主行動計画「NA+KA+MA（仲間プラン）」の策定について、職員の子育て環境の充実や女性職員の活躍の推進を図るなど、ワーク・ライフ・バランスの実現に期待される所であり、心や体の健康づくりの向上と併せて働きやすい職場環境づくりに努められたい。
- ・防犯灯について、電気代等を行政側が負担している自治体もあることから、県内市町の状況等を踏まえた調査研究に努められたい。

税務課

- ・キャッシュレス決済について、時代に即した納付方法として市税等の利用実績が着実に増加していることから、各種証明書等に係る手数料等への導入についても、これまで培ったノウハウを基に全庁的な連携のもと検討されたい。
- ・滞納整理について、令和3年度は国や県と連携した合同公売が中止となってしまったが、引き続き大口滞納法人に対する滞納整理に努めるとともに、新規滞納者を作らないための収納体制を確立し、徴収率の改善に向け取組を推進されたい。